

2014年5月28日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

米国の総合マーケティング会社「MKTG社」の買収手続き開始の合意について

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）は、海外本社「電通イービス・ネットワーク」傘下の米国 Aegis Lifestyle, Inc.（イービス・ライフスタイル社）を通して、世界最大の広告市場である米国で顧客による関心が高まっているエクスペリエンシャル・マーケティング（消費者のブランド体験、経験価値にフォーカスしたマーケティング活動）に強みを持つ総合マーケティング会社、「MKTG」（本社：ニューヨーク市、正式社名は MKTG Inc.、以下「MKTG社」）の取締役会と、同社株式100%取得に向けた買収手続きを開始することにつき、合意しました。

MKTG社の取締役会は本件買収につき、全会一致で賛同しており、また同社経営陣は、本件買収成立後も、継続して同社の経営に参画していくことに合意しています。

なお、MKTG社は米国 OTC ブリティンボード市場に上場する企業であることから、米国証券取引委員会や同社株主総会での承認等の手続きが必要なため、取得完了までには2~3カ月を要するものと想定しています。

エクスペリエンシャル・マーケティングとは、従来の広告手法が商品やサービスのブランド認知度や好意度を高めるために、消費者に対して質・量ともに適正な広告露出を図ろうとするものであったのに対し、商品やサービスを実際に体験できるマーケティング・イベントを通して、理性と情緒の両面からブランドに対する消費者のエンゲージメントを高め、好意的な口コミ（バズ）やソーシャルメディアでの拡散を促し、コミュニケーションの好循環を生み出していくマーケティング手法です。

1992年に設立された MKTG社は、設立当初からこの分野をビジネス領域とし、現在では年間約7万件の経験価値にフォーカスしたイベントを実施しています。また同社は、多くの世界的に有名なブランドを顧客として抱え、エクスペリエンシャル・マーケティング、デジタル・マーケティング、販促プロモーション、戦略調査などを含む総合的なマーケティング・サービスを提供しています。当社グループは米国においてすでに多くの事業を展開していますが、MKTG社の買収を契機に、顧客に対するサービスの付加価値を高め、米国での成長戦略を加速させてまいります。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーである Carat(カラ)が2014年3月に発表した米国の広告費は、2013年は前年比で3.5%の成長でしたが、2014年、2015年は、それぞれ4%以上の安定した成長が続くと予測しています。

なお、本件が当社の平成27年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

<参考：電通グループの米国での事業展開>

当社グループの米国での事業展開は、主に、総合広告会社の Dentsu America、クリエイティブ・エージェンシーの mcgarrybowen、Attik、Firstborn、メディア・コミュニケーション・エージェンシーの Carat、Vizeum、デジタルエージェンシーの Isobar、iProspect、360i、OOH エージェンシーの Posterscope、PR 会社の Mitchell Communications Group、スポーツ・マーケティング専門会社の Dentsu Sports America、エンタテインメント事業専門会社の Dentsu Entertainment USA で行っています。

【MKTG 社の概要】

社 名 : MKTG Inc.
本社所在地 : 米国・ニューヨーク市
サンフランシスコ、ロサンゼルス、シカゴ、シンシナティ、ロンドンに
拠点を置く
設 立 : 1992年3月
株主構成 : 米国イーグス・ライフスタイル社 100% (すべての手続きが完了した場合)
売上総利益 : US\$42,900,000 (約 43.3 億円) (2013年12月期)
代 表 者 : Charlie Horsey (CEO)
従業員数 : 340名 (フルタイム従業員)
このほか、全米に 6,600 名のパートタイム従業員ネットワークを抱える
事業内容 : エクスペリエンシャル・マーケティング、デジタル・マーケティング、販
促プロモーション、戦略調査などの総合マーケティング・サービスを提供

以 上